

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 30日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県栗東市出庭1118番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
オイレス工業(株)滋賀工場
滋賀工場長 鶴田 英紀

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更) 事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	オイレス工業(株)代表取締役社長 坂入 良和
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	神奈川県藤沢市桐原8番地

1 事業所の概要

事業所の名称	オイレス工業(株) 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県栗東市出庭1118番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部分品・付属品製造業
事業の概要	自動車部分(ベアリング)の製造・販売					
従業員の数	196	人	作業時間	7.5	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	11	台
	コンプレッサ	8	台	空気調和設備	44	台
				照明設備	1000	台
				その他	CGS:1台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちオイレス工業(株)は、オイレスグループ企業行動憲章のひとつとして掲げる

「私たちは、地球環境の保護に積極的に取り組みます。」に基づき、製造業としてCO₂排出を削減できる製品を提供することにより 低炭素社会の構築に寄与していきます。」

2 取組の推進体制

1、ISO14001実現体制

経営層:滋賀工場長

環境管理責任者:生産管理課 課長

2、推進体制(組織図)

滋賀工場長

- ・無給油軸受けの生産体制の推進
- ・無給油軸受けの生産状況の集計

生産管理課

製造課

- ・無給油軸受けの生産出荷指示
- ・無給油軸受けの生産状況の報告

- ・無給油軸受けの生産・出荷実行
- ・無給油軸受けの生産状況の報告

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

平成11年度よりISO14001環境マネジメントシステムの運用を開始し維持、管理を実施している。

- 空調設定温度の管理を実施。
- 照明の間引きを実施。
- 窓ガラスの断熱補修を実施。
- 電力デマンド表示の導入によるピーク電力の軽減。
- 事務用機器(モニター)の省電力モードの利用。
- ラインの効率化
- 歩留まり改善活動による生産性の向上。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	ガス式コージェネレーションによる電力使用量の削減の継続	2022～2026	継続中
2	運用改善	電力デマンドによるピーク電力の監視	2022～2026	継続中
3	設備導入	従来のラビッド照明からインバータやLED照明への更新	2022～2026	LED照明へ更新済み
4	設備導入	省エネの空調機への更新	2022～2026	3号棟更新済み
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
・電気使用量の削減 生産性向上および効率的使用による電気使用の標準加工費単価削減 2021年度 5329.5kWh/百万円以下	2023年度通年でCGSを減らして、電気でカバーし再生可能エネルギーを通年で購入する形になったため、電気使用量は目標値を超える形となったが、CO ₂ 排出量は削減された。 2023年度 実績 5440.9kWh/百万円以下 ※CGS 年間通して運転減 2024年度 目標 5386.5kWh/百万円以下 ※CGS 年間通して運転減

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の 実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	2,691	2,560	2,271			
温室効果ガス 総排出量	t-CO ₂	4,385	3,616	3,783			
エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	4,385	3,616	3,783			
非エネルギー起源 CO ₂	t-CO ₂	0	0	0			
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	2022年12月より電気使用量の50%導入	1年間	継続中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	20	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	17,390	17,515	17,588			
上記のうち自家消費量	kWh	17,390	17,515	17,588			

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
・一般のすべり軸受けでは、性能を維持できない厳しい条件下でも、優れた耐久性と性能安定性を発揮するオイレスベアリングを製造し、より多くの顧客に提供する。	新製品バイオマス(植物由来)プラスチックを原料にしたバイオマスプラスチック軸受の販売を開始
	CO ₂ 削減貢献量
	不明 t-CO2

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標を定量的に設定することは難しいが、定性的には下記に考えております。
①給油装置・給油孔・油溝を不要とする 給油装置を製造するエネルギーが不要となり、給油孔・油溝を加工するためのエネルギーをなくす。
②潤滑油の給油を不要とする メンテナンスフリーのため潤滑油自体が不要となり、潤滑油の製造に要するエネルギーが必要なくなる。 また、オイレスベアリングに代えることにより、従来、廃油をリサイクルや廃棄していた処理が必要なくなり、その処理にかかるエネルギーが不要となる。
③ベアリング交換をなくす 耐久性に優れ、機械の高性能化と長寿命化が図れるため、交換するベアリングが必要なくなり、従来、交換していたベアリングを製造するエネルギーが不要となる。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
新規製品を開発した
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
算出困難

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	4,311	3,703				
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.351	0.311				
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	運用改善	輸出(出港)経路変更(関東⇒関西)による CO2削減	2022～2026	継続調査中
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	3	3	3			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	2	2	3			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	冬夏の空調機の温度設定をCO2の削減少なくなるように設定し、クールビズを徹底する。また、過剰な照度の照明は適正照度のものに入れ替える。	2022～2026	継続実施中
2	SDGs	工場内の緑化を促進する	2022～2026	継続実施中
3	SDGs	不在時、休憩時間、退社時には消灯する	2022～2026	継続実施中
4	SDGs	遮熱塗料の採用により、建屋の断熱性を向上させる	2022～2026	3月実施予定
5				